

第88期 中間報告書

平成22年4月1日～平成22年9月30日

O-M Ltd.

大阪市淀川区宮原三丁目5番24号（新大阪第一生命ビル）
TEL (06) 6350-1200（代表） 〒532-0003



株式会社 才一工△製作所

株主のみなさまにおかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

このたび第88期第2四半期連結累計期間（平成22年4月1日から平成22年9月30日まで）を終了いたしましたので、ここにその間の事業の概況につきましてご報告申し上げます。

当期の業績

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新興国からの需要の増加や、政府による景気対策により穏やかな景気回復が続きましたが、株安や急激な円高、また雇用情勢の悪化など、依然先行きは不透明であり、景気の後退が懸念される状況となっております。

このような状況の中、当社は第4次中期経営計画をスタートさせ、中期経営計画の柱である海外事業の促進について積極的に取り組み、平成22年7月に台湾にTAIWAN O-M CO.,LTD.を設立いたしました。これにより、立型旋盤の一部について海外生産委託を行い、新興国向けに低価格汎用機の需要に応じてまいります。

また、平成22年4月に事業の再構築を行い、連結子会社のオーエムエンジニアリング株式会社を長岡工場（新潟県長岡市）へ統合し、生産効率の向上や固定費の削減

に取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の連結業績は、売上高41億3千7百万円（前年同四半期比31.5%減）、営業利益6億6千7百万円（前年同四半期比47.9%減）、経常利益6億6千1百万円（前年同四半期比49.7%減）、四半期純利益3億7千5百万円（前年同四半期比51.0%減）となりました。

当期の中間配当につきましては、慎重に検討いたしました結果、誠に遺憾ではございますが、見送らせていただくことといたしました。株主のみなさまには、なにとぞ事情ご賢察のうえご了承賜りますようお願い申し上げます。

通期の見通し

通期の見通しにつきましては、経済情勢は円高の進行や欧米景気の減速懸念など依然として不透明な状況が続く、下期の企業業績も上期に比べ減速が予想されるなど先行きに慎重な見方が目立ち、当社が得意とします大型立旋盤の主要なユーザーであります重厚長大産業の設備投資意欲は、一部で明るさはみられますが、依然として厳しいものと予想されます。

このような状況の中で、当社は本年度からスタートし

ました第4次中期経営計画を着実に実行し、業績の改善と企業価値の向上を目指してまいります。特に最重要施策であります海外展開の推進につきましては、本年7月に設立いたしましたTAIWAN O-M CO.,LTD.で低価格の汎用立旋盤OM-REXERシリーズの生産委託を本格化させ、中国、インドなどアジア地域の新興国をターゲットに拡販をはかり、海外売上高の拡大を進めてまいります。

また、激化する企業間競争、価格競争に対応する為、海外調達拡大などコスト削減や生産効率の向上に取り組み、収益力の向上を図ってまいります。一方、品質の維持、向上につきましては、機械不具合発生要因の徹底分析などにより機械品質の向上に取り組んでまいります。

通期の業績見通しにつきましては、売上高93億円（前年同期比19.5%減）、営業利益14億6千万円（前年同期比31.0%減）、経常利益14億5千万円（前年同期比32.3%減）、当期純利益8億8千万円（前年同期比17.6%減）を予定しております。

また、配当金につきましては、年間で一株につき10円を予定しております。

株主のみなさまには、今後とも引き続き一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

第4次中期経営計画（AGGRESSIVE-21IV）

平成22年4月～平成25年3月

ビジョン

- 海外での事業（調達・生産・販売）を推進し、グローバル市場で勝ち抜く
- 「モノづくり力」を磨き、高品質な製品を提供し、企業価値の向上を目指す
- コンプライアンス重視の経営

経営施策

- 海外展開の推進
- 営業戦略 — グローバル市場への対応、提案型営業の推進
- 製品開発の強化
- モノづくり力の強化
- コンプライアンス重視の企業活動

数値目標（平成25年3月期）

連結売上高	15,000百万円
連結営業利益	2,700百万円
連結当期純利益	1,570百万円

企業価値の向上に向け、

事業規模の拡大と安定した収益の確保を目指します。



取締役社長
山村 英司

一般機械の製造販売事業

一般機械の製造販売事業につきましては、景気の先行き不透明感や製造業の海外生産移転により、企業の設備投資意欲は依然弱い中、建設機械業界や鉄道業界、航空機などインフラを中心とした業界へ、本年1月に「お客様の欲しいを形に」をコンセプトにモデルチェンジしましたコストパフォーマンスに優れたNeo-EXシリーズなど立型旋盤の拡販に取り組んでまいりました。また食品、薬品業界へは、機械の設置スペースを従来機の2/3に削減した省スペースのコンパクトカートナーや省エネケーサーなど自動包装機械の拡販に取り組んでまいりましたが、売上高、営業利益ともに前年同四半期を下回る結果となりました。

売上高は、35億4千8百万円（前年同四半期比36.6%減）、営業利益は、6億5千8百万円（前年同四半期比50.6%減）となりました。



鋳造品の製造販売事業

鋳造品の製造販売事業につきましては、工作機械業界、産業機械業界からの受注が一部戻りつつあるものの、価格競争は依然厳しく、固定費削減や生産の効率化に努めました結果、売上高、営業利益とも前年同四半期を上回り、2年ぶりに黒字化となりました。

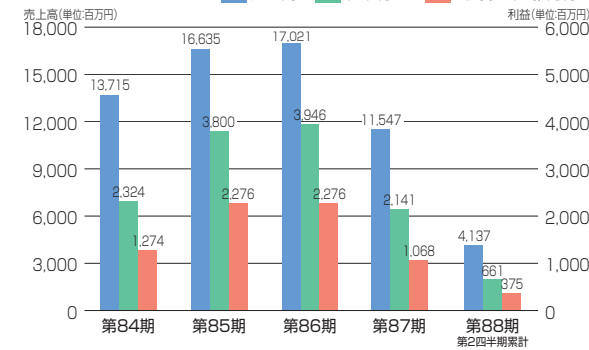
売上高は、4億4千5百万円（前年同四半期比41.9%増）、営業利益は、3千4百万円となりました。

その他事業

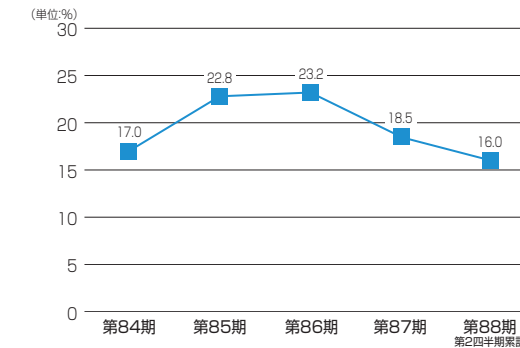
その他の事業は、ガソリンスタンド、ゴルフ練習場等による収入を計上しました。

売上高は、1億4千3百万円（前年同四半期比6.2%増）、営業損失2百万円となりました。

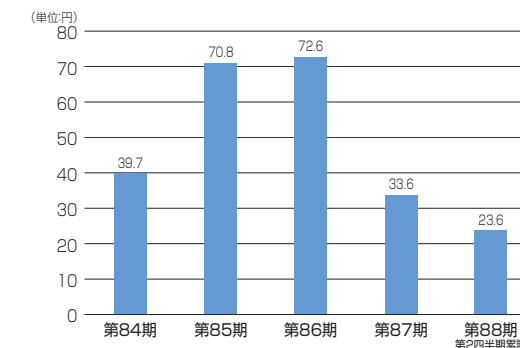
売上高・利益推移



売上高経常利益率

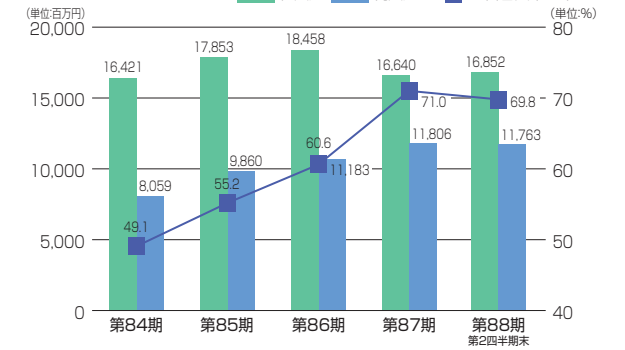


1株当たり当期純利益

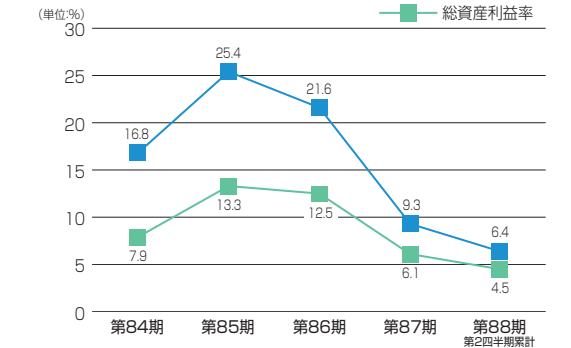


(注) 年額に換算しています。

自己資本推移

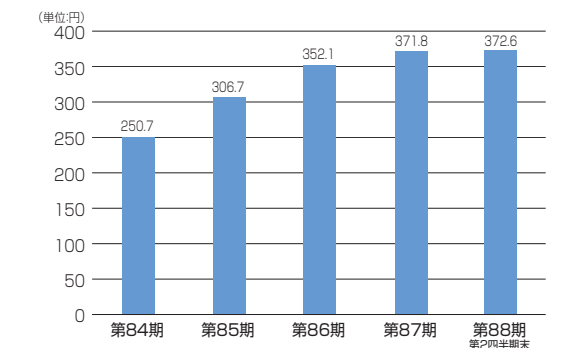


自己資本利益率・総資産利益率



(注) 年額に換算しています。

1株当たり純資産



四半期連結貸借対照表

	当第2四半期 連結会計期間末 平成22年9月30日現在	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 平成22年3月31日現在
【資産の部】		
流動資産		
現金及び預金	7,396	6,768
① 受取手形及び売掛金	2,899	3,634
商品及び製品	219	176
仕掛品	1,263	958
原材料及び貯蔵品	77	60
繰延税金資産	186	285
その他	189	172
貸倒引当金	△ 11	△ 11
流動資産合計	12,221	12,044
固定資産		
有形固定資産	3,206	3,066
無形固定資産	42	46
投資その他の資産		
投資有価証券	489	579
その他	893	917
貸倒引当金	△ 0	△ 14
投資その他の資産合計	1,382	1,482
固定資産合計	4,631	4,596
資産合計	16,852	16,640

POINT ①受取手形及び売掛金

売上減に伴い735百万円（20.2%）減少しました。一方で、受取手形、売掛金の回収による現金化により「現金及び預金」は、628百万円（9.3%）増加しました。

POINT ②純資産

四半期純利益375百万円を計上しましたが、配当金の支払317百万円のほか、自己株式の取得46百万円、株式等の評価減53百万円が発生し、純資産は43百万円（0.4%）減少しました。

POINT ③売上高

景気後退による設備投資の低迷により売上高は、1,906百万円（31.5%）減少しました。

（単位：百万円）

	当第2四半期 連結会計期間末 平成22年9月30日現在	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 平成22年3月31日現在
【負債の部】		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,585	1,396
短期借入金	1,765	1,765
未払法人税等	208	22
賞与引当金	243	273
製品保証引当金	73	103
その他	999	1,026
流動負債合計	4,875	4,586
固定負債		
退職給付引当金	158	131
役員退職慰労引当金	23	48
その他	31	67
固定負債合計	214	247
負債合計	5,089	4,833
【純資産の部】		
株主資本		
資本金	1,660	1,660
資本剰余金	301	301
利益剰余金	10,260	10,202
自己株式	△ 522	△ 475
株主資本合計	11,699	11,688
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	66	120
為替換算調整勘定	△ 3	△ 2
評価・換算差額等合計	63	118
② 純資産合計	11,763	11,806
負債純資産合計	16,852	16,640

POINT ④経常利益

売上減の状況下、生産効率の向上や固定費の削減に取り組み、経常利益は661百万円計上し、売上高経常利益率も16.0%（前年同四半期比5.8ポイント減）となりました。

四半期連結損益計算書

（単位：百万円）

	当第2四半期連結累計期間 平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで	前第2四半期連結累計期間 平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで
③ 売上高	4,137	6,043
売上原価	2,587	3,745
売上総利益	1,550	2,298
販売費及び一般管理費	882	1,016
営業利益	667	1,282
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	8	8
補助金収入	—	26
その他	7	18
営業外収益合計	17	55
営業外費用		
支払利息	14	14
その他	8	8
営業外費用合計	23	22
④ 経常利益	661	1,314
特別利益		
固定資産売却益	—	11
特別利益合計	—	11
特別損失		
ゴルフ会員権評価損	3	1
60周年記念費用	—	14
特別損失合計	3	15
税金等調整前四半期純利益	658	1,310
法人税、住民税及び事業税	179	458
法人税等調整額	103	86
法人税等合計	282	544
少数株主損益調整前四半期純利益	375	—
四半期純利益	375	765

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	当第2四半期連結累計期間 平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで	前第2四半期連結累計期間 平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで
⑤ 営業活動によるキャッシュ・フロー	1,031	994
⑥ 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 31	△ 604
⑦ 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 370	△ 480
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 0	0
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	628	△ 89
現金及び現金同等物の期首残高	5,315	5,401
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,943	5,312

ご参考

配当の状況

	平成21年3月期	平成22年3月期	平成23年3月期(予想)
中間	—	—	—
期末	15円	10円	10円
合計	15円	10円	10円

POINT ⑤営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前四半期純利益658百万円、売上債権の減少735百万円がキャッシュ・インとなり、一方でたな卸資産の増加365百万円がキャッシュ・アウトとなり、営業活動によるキャッシュ・フローは、1,031百万円のキャッシュ・インとなりました。

POINT ⑥投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得26百万円がキャッシュ・アウトとなり、投資活動によるキャッシュ・フローは、31百万円のキャッシュ・アウトとなりました。

POINT ⑦財務活動によるキャッシュ・フロー

配当金の支払額316百万円、自己株式の取得46百万円がキャッシュ・アウトとなり、財務活動によるキャッシュ・フローは、370百万円のキャッシュ・アウトとなりました。

CNC立旋盤の海外生産を開始

台湾に100%子会社TAIWAN O-M CO.,LTD.を設立し、当社従来機に比べ大幅に低価格化した汎用立旋盤（機種名:OM-REXER-16、OM-REXER-20 テーブル径:1600mm、2000mm）の生産を委託し、海外市場戦略機として、中国を初めとしたアジア地域の成長新興国をターゲットに販売を開始しました。

工作機械市場は高機能、高付加価値機と低価格の汎用機に需要が2極化しており、特に低価格な汎用機はアジアを中心に需要が伸びています。こうした市場動向を踏まえ、高機能、高付加価値な立旋盤は国内で生産を行い、低価格の汎用立旋盤を台湾で生産する体制を構築しました。

今後の取り組みとして、OM-REXERをテーブル径1000mm～3000mmまでシリーズ化し、幅広くユーザーニーズに応え、売上高の拡大など更なる成長を目指してまいります。

News & Topics

子会社の概要

商号	TAIWAN O-M CO.,LTD.
代表者	石田信博
所在地	台湾 台中縣太平市新仁路一段18号2F
事業の内容	工作機械の製造販売
設立年月日	平成22年7月23日
決算期	12月31日
資本金	3,000,000元（台湾ドル）
出資構成	株式会社オーエム製作所 100%

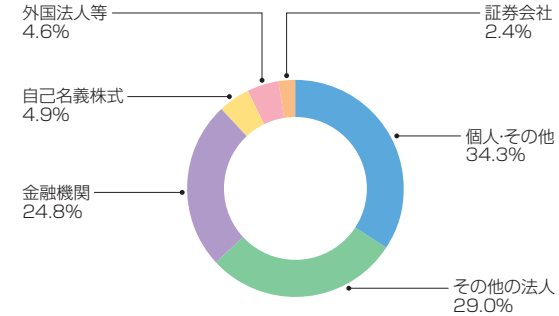


OM-REXER-16

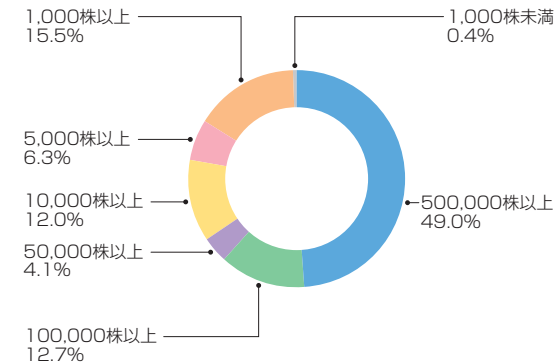
株式の状況 (平成22年9月30日現在)

発行可能株式総数	88,000,000株
発行済株式の総数	33,200,000株
株主数	4,978名

所有者別株式数分布状況 (平成22年9月30日現在)



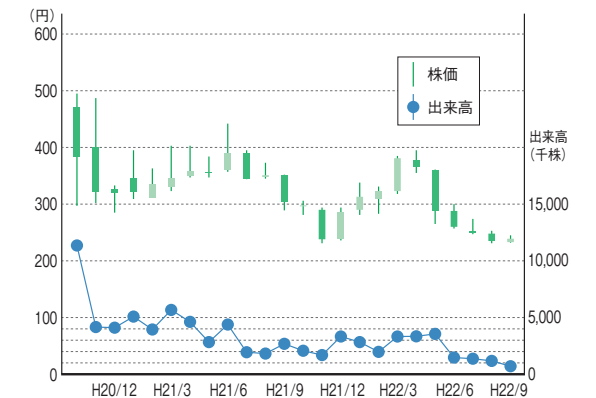
所有株数別株式数分布状況 (平成22年9月30日現在)



大株主の状況 (平成22年9月30日現在)

株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
ダイワボウホールディングス株式会社	8,969	27.01
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,920	5.78
株式会社オーエム製作所	1,629	4.90
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,030	3.10
株式会社北越銀行	1,000	3.01
株式会社山陰合同銀行	1,000	3.01
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	707	2.12
オーエム協力会社持株会	498	1.50
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	483	1.45
ゴールドマン・サックス・アンド・カンパニーレギュラーアカウント	400	1.20

株価・売買高の推移 (平成20年10月～平成22年9月)



会社概要 (平成22年9月30日現在)

社名	株式会社オーエム製作所
英文社名	O-M Ltd.
創業	大正9年2月
設立	昭和24年7月
資本金	16億6千万円
主要な事業内容	自動機械、工作機械、その他諸機械の製造販売
従業員数	318名(連結)、256名(単体)
上場証券取引所	東京、大阪
証券コード	6213
会計監査人	新日本有限責任監査法人

役員 (平成22年9月30日現在)

取締役社長	山村英司
常務取締役	若月博
取締役	大森博
取締役	笹倉誠
取締役	佐脇祐二
常勤監査役	富江登
監査役	品田邦夫
監査役	菅野肇
監査役	吉本隆太郎

事業所 (平成22年9月30日現在)

本社	大阪市淀川区宮原三丁目5番24号(新大阪第一生命ビル) TEL (06) 6350-1200 (代表) 〒532-0003
東京支店	東京都台東区上野一丁目10番10号(うさぎやビル) TEL (03) 3837-1271 (代表) 〒110-0005
名古屋営業所	名古屋市東区葵一丁目13番18号(サッサセンタービル) TEL (052) 930-0058 〒461-0004
播磨営業所	兵庫県加古郡播磨町南野添三丁目6番6号(JA播磨支店ビル) TEL (079) 441-1727 〒675-0151
宍道工場	島根県松江市宍道町佐々布75番地 TEL (0852) 66-0311 (代表) 〒699-0406
長岡工場	新潟県長岡市北園町2番1号 TEL (0258) 24-1550 (代表) 〒940-0014
自動機事業部サービスセンター	大阪市淀川区宮原三丁目5番24号(新大阪第一生命ビル) TEL (06) 6350-1203 〒532-0003

連結対象子会社 (平成22年9月30日現在)

オーエム金属工業株式会社 (鋳造品の製造、販売・機械部品の加工)
オムテック株式会社 (レジャー関連)
O-M (U.S.A.), INC. (工作機械製品の営業支援)
TAIWAN O-M CO.,LTD. (工作機械の製造、販売)
オーエム技研株式会社 (休眠会社)
オーエムエンジニアリング株式会社 (休眠会社)

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 0120-094-777 (通話料無料)
公告方法	電子公告 ホームページアドレス (http://www.omltd.co.jp)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることになっておりますので、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんので、ご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。

株式に関するお手続きのご請求について

■ 証券会社等の口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問い合わせ先	
・郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ・支払期間経過後の配当金に関するご照会 ・株式事務に関する一般的なお問い合わせ	株主名簿 管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 0120-094-777 (通話料無料)
・上記以外のお手続き、ご照会等	口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。	

■ 特別口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問い合わせ先	
・特別口座から一般口座への振替請求 ・単元未満株式の買取・買増請求 ・住所、氏名等のご変更 ・特別口座の残高照会 ・配当金の受領方法の指定	特別口座 の口座 管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 0120-094-777 (通話料無料)
・郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ・支払期間経過後の配当金に関するご照会 ・株式事務に関する一般的なお問い合わせ	株主名簿 管理人	